

令和元年度第1回西伊豆町地域公共交通会議 議事録（要旨）

日時：令和2年1月15日（木）

午前10時30分～午前11時45分

会場：西伊豆町保健センター2階会議室

出席者：委員16人中12人（事務局：2人）

配布資料

- ・令和元年度第1回西伊豆町地域公共交通会議次第
- ・西伊豆町地域公共交通会議委員名簿
- ・令和元年度自主運行バス乗降調査結果について
- ・令和2年度自主運行バス事業について
- ・公共交通を考える～自主運行バス松崎宮ヶ原線の存続について～
（意見募集のお知らせ）チラシ
- ・料金表／距離表

1 開会（午前10時30分）

【まちづくり課長進行】

2 会長挨拶

【会長（星野町長）】

地域住民の有効な交通手段である、公共交通の維持は、高齢化・人口減少の著しい西伊豆町においては、大変重要な施策の一つであると考えています。この地域公共交通会議は、町民の皆様の生活に必要な公共交通の確保や、利便性の向上を図るために、何が必要となるかを協議する場ではありますが、本日は、自主運行バスとして実施している松崎宮ヶ原線の来年度の運行についてその必要性や利用実態等について協議していただきたい。忌憚のないご意見をいただき、より良い運行方法を検討していきたい。

3 議事

（1）西伊豆町自主運行バス事業について

【事務局説明】

①令和元年度自主運行バス乗降調査結果について

- ・令和元年5月28日、6月10日に、（株）西伊豆東海バスと共同で乗降調査を実施した。

- ・平成 29 年度から令和元年度までの各便ごとの輸送人員の推移及び過去 5 カ年の年度別輸送人員、平均乗車率の推移を説明。輸送人員は年々減少しており、平均乗車率は昨年度と同じ 0.5 であった。平均乗車率 0.5 は、県の補助を受けるための下限値となっている。
- ・平成 30 年度末に松崎宮ヶ原線の現状報告書を大沢里区各世帯に配布し、地区に自主運行バス事業の現状を知らせるとともに、大沢里区長からもバスの利用の呼び掛けを行った。

②令和 2 年度自主運行バス事業について

- ・系統名「松崎宮ヶ原線」に変更は無し。
- ・運行事業者は、これまで（株）西伊豆東海バスが運行していたが、令和 2 年度からは、東海バスグループバス事業会社 5 社が統合した新会社、（株）東海バスによる運行を予定。
- ・運行補助額について、新会社統合により「キロあたり経常経費」の単価が新会社の単価となることから、運行補助額（委託料）が大幅に増加する市町があることから、経過措置として令和元年度の「キロあたり経常経費」と新会社の「キロあたり経常経費」の中間値から単価を算出。
- ・欠損額の欄について、2 段書きになっているが、下段の括弧書きは、本年度と同じ毎日 3 往復の運行をした場合、上段の数値は、休日の運行を減便した場合の欠損額（補助額・自主運行バス委託料）の額です。本年度と比較してこれまで通りの運行をした場合、約 195 万円の増額、休日減便の場合、約 40 万円の減額となる。
- ・昨年度の本会議において、小中学生が主な利用者ということから、学校のない土曜日日曜日の運休・減便を検討してはとの意見があり、当時は結果としてダイヤ改正はせず、例年通り運航することになりましたが、乗降調査の結果を見てもバス利用者は益々減少しており、事務局から収支改善策として、土日祝日の減便を提案する。提案する新ダイヤは、平日は 3 往復でこれまでと変更なく、学校のない土日祝日は、1 往復としたい。資料として減便に関するチラシを添付してありますが、これを大沢里地区へ各戸配布し、地区住民から意見を募集しましたが、住民からの意見はありませんでした。
- ・事務局では、教育委員会事務局と中学校統合に伴う令和 3 年度以降の通学バスの在り方についても検討している。仁科地区から約 70 名の生徒を宇久須まで輸送する必要がある、検討案を作成し、今後、委員の皆様のご意見を伺う予定です。

質疑・意見等

【副会長（西伊豆東海バス）】

- ・学校統合の関係で、教育委員会事務局と輸送方法について検討している。令和3年度の運行について、6:52 宮ヶ原発の便を使って、宇久須へという話もあり、その時に土曜日も運行を含めて欲しいとの要望を受けている。

【委員（仁科区長会長）】

- ・文教施設の委員もやっているが、そちらの会議では、令和3年度、宇久須へ通学するのに6:52 宮ヶ原発のバスを利用するので良いかと採決を求められた。それぞれの会議で別々の結論が出たらおかしくなる。どちらの会議も同じ町の諮問会議であり、連携して進めて欲しい。

【事務局】

- ・令和2年度の休日の減便案については、ダイヤをいったん白紙にして、バス事業者の運転手確保、車両の確保や地域の意向等を踏まえ、適切な時間に設定したいと思っている。土日祝日については、新たなダイヤを設定したい。
- ・令和3年度の生徒の輸送方法について、教育委員会事務局から意向は伺っている。未確定な要素が多く、骨格も定まっていない話で、宮ヶ原から宇久須に回したいとの話は聞いていますが、今日のこの場で説明するほどの内容ではなく、構想段階の話であったため、説明から省いた。ただし、そういった話はしており、今後、皆様に説明しお諮りしたい。

【委員（伊豆土肥交通）】

- ・町の財政的にも大変であり、小さい車にする予定はあるか？例えば、土肥戸田間の様にジャンボタクシーとか。経費は1/3とか半分になるのでは。

【会長】

- ・健康福祉課の方で、住民の中でなぜバスを利用しないのかを調べてみると、家の前まで来てくれない、買い物をして、バス停から重い荷物を持って家まで行くのはなかなか難しいので使わないということであった。そういうのを補完するにはどうしたら良いかという話があり、ジャンボタクシーというよりは、既存のタクシーで事が足りるのではないかと思われるので、そのタクシーを利用しやすくする方法を検討している。
- ・他市町でも導入しているジャンボタクシーや乗合の車両は、車両を町が購入したりと、経費は軽くなるかもしれないが、そういった費用も必要。どちらの方が有益なのか議論が必要。どちらにせよ、住民の足を確保しなければならないということは、町は理解しており、減便や何かしらの政策変更をする際には、タクシー事業者の利用促進も図っていかねばならないと認識しており、健康福祉課で対策を検討している。

- ・今回は、休日の便を減便し、経費削減をさせていただき、町の支出を少なくさせていただきたい。

【副会長】

- ・いつも公共交通会議の場で、バスを小さくしたらとの話がでますが、二十数余のバスで朝の6時から夜10時頃まで、西伊豆町・松崎町・伊豆市の方まで運行しており、いろいろなダイヤの組み合わせて効率的な運行をしている。朝の通勤通学で乗り切れない、繁忙期のお客様が乗り切れないとか、そういったことを考えると、今の中型バスが一番良い。また、バリアフリー法の適用もあり、必ず車いすが乗らなくてはいけない、お年寄りや障害者が乗車しやすいように、低床バスを導入する必要がある、小型バスの導入は、難しい。ただし、松崎宮ヶ原線は、小型バスを導入している。

【委員（大沢里区長）】

- ・昨年の会議で、自主運行バスの現状を知り、地域に実態を知らせ、利用してもらうために、資料を作成し地区内に配布したが、利用状況は芳しくない。昨年暮れにまちづくり課から減便について打診を受けたが、地区の意見集約は時間がなかったので、町から各世帯にチラシを配ってもらい、意見募集をしたが、意見は無かったということであるが、地域からは、午前には運行してほしいとか午後が良いとかバラバラですが、減便に関しての反対意見は聞いていない。全く無くなっては困るが、減便については、仕方がないという意見。
- ・バスに乗らない理由として、以前から病院には病院の無料送迎バスがあり、最近では、デイサービスでの輸送サービスを利用して買い物を済ませる人もいます。
- ・それでも乗らないようなら、休日の運休はやむを得ない。

【委員】

- ・デイサービスの輸送サービスとか、どういう仕組み？ますますバスに乗らなくなる。

【会長】

- ・あくまで訪問福祉の介護サービスとしての制度。また、中区ではボランティアによる輸送サービスをやっている。現状、バスを利用しなくても高齢者の代替の足が確保できていることは、町としてはわかっているが、それを理由にこの路線を止めてしまうのは、観光客や突拍子もないことが起こったときに、バス事業者と連携していないということは、不利益であり、町の予算を使い自主運行している。しかし、益々乗車しなくなり、県の補助金も無くなり、全額町負担となった場合、議会が予算を通すかはわからない。
- ・使う人は良い制度、低料金に流れてしまうので、利用者は減る一方。

【委員】

- ・代替の足があるのなら、自主運行バスを維持する必要性があるのか。

【会長】

- ・違う面から言えば、雇用の維持であったり、一概に費用対効果だけで話をするのは危険。タクシーでは乗り切れない場合もバスなら乗り切れますし、定時運行することにより、その先で事故や何か災害等が起きていた場合に町に一報入れてくれたりと、セーフティネットの役割も担っている。今回、宮ヶ原の火災も運転手による第一報であった。地域で見切れない面を見ていただいている側面もあり、費用対効果以外のメリットも考えたい。
- ・この会議で廃線の判断が出ない限り、町としては廃線とするのは難しい。減便等をしてコスト削減を図っていくしかない。

【委員】

- ・バス停で乗降するのではなく、フリー乗降は出来ないか？

【中部運輸局静岡支局】

- ・タクシーとかであれば良いが、路線バスだとバス停を設けてそこで乗り降りするのが原則ですが、事務所に戻りましたらフリー乗降制について調べ、事務局へ連絡させていただく。

【県地域交通課】

- ・休日の減便ということで、休日の利用状況は？
- ・住民の方に利用していただくために、こういった広報をしているか？最近だと、高齢者の免許返納が増えていると思うが、免許返納者にこういった広報をしているか？他市町の例を挙げると、バスの利用券を補助していたり、そういったことをやっていれば教えて欲しい。

【事務局】

- ・休日の乗降調査は実施していない。平成 27 年度に大沢里地区を対象にしたバスの利用実態アンケートを実施しており、主な利用者は小中学生という結果であったことから、学校のない休日に運行すれば乗車人数は減ることから、休日の減便を提案した。
- ・広報について、町の広報誌掲載はしていなかった。地区へ回覧版を配布し、自主運行バスの現状を知らせて危機感を持ってもらうとともに利用を呼び掛けた。

【会長】

- ・土日の利用実態については、これからの 1 月 2 月で東海バスに調査を依頼した。調査結果が出次第、お知らせする。
- ・免許返納者への補助はしていないが、65 歳以上の方に、町が 500 円、利用者が 500 円、東海バスが 300 円というように、500 円で 1300 円の乗車券が購入できるようにしており、そういったものを活用していただければ、乗車しやすい状況を作っている。これは、広報誌に掲載している。

【中部運輸局静岡支局】

- ・現状把握をしっかりとしていただきたい。
- ・危機的状況であること、廃線になりかねない状況であることを、周知してください。

【委員（大沢里区長）】

- ・昨年度、データを示して、地区に周知した。このままでは最悪、廃線になることも知らせ、そうなると困るので、ぜひ乗ってくれと一文を添えてお願いした。
- ・バスが無いと困るという声はあるが、回数券を買っている人も少ない。
- ・第1便で下っても、ほとんど店舗が開いていない。

【事務局】

- ・休日の便の時間については、この場では決められませんので、地区及びバス事業者と協議して進めさせていただいてよろしいか？

【会長】

- ・それでは、休日については、一日一往復に減便し、運行時刻は、保護者の意見も確認し、地区及びバス事業者と協議して決めるということによろしいでしょうか。

【委員】

異議なし

【会長】

ありがとうございます。議題（2）その他で何かありますか。

【副会長】

- ・バス事業体制の見直しについて説明。バス事業会社の統合について説明

5 閉会（午前11時45分）